

2020 年度入学試験問題

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～21	日 本 史	22～37
世 界 史	38～51	地 理	52～67
数 学	68～73		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

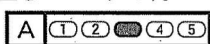
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

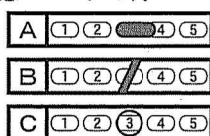
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎのA～Kの文は、いずれもある一つの島について述べた文である。
これらの文を読み、それについての下記の問いに答えよ。

- A. は、1860年に、赤シャツ隊と呼ばれた義勇軍を率いて、この島を制圧し、リソルジメントの中心となった国の王に献上した。
(1)
- B. 1943年7月英米の連合軍を中心とする軍隊がこの島に上陸すると、この島が属する国の政権は崩壊し、 内閣が成立した。
(2)
- C. 10世紀にノルマン人が建てた国であったノルマンディー公国出身で、オートヴィル家の一員として、すでに兄が活躍していたこの島にやってきた は、1130年にこの島の王と認められた。彼の国はナポリを中心とする南イタリアをも領有していた。
(3)
- D. 同盟の盟主アテネは、ペロポネソス戦争中に、この島への遠征を敢行して大敗を喫し、結局ペロポネソス戦争に敗れることとなった。
(4)
- E. 1787年にゲーテがこの島に上陸したとき、この島はカルロス3世の息子の支配下にあった。1759年にカルロス3世がスペイン王となって、息子にこの島の王位を譲ったからである。カルロス3世の父は、「太陽王」と呼ばれたブルボン家のフランス王の孫にあたり、スペイン=ブルボン朝の祖と言われる であった。
(5)
- F. 1282年に、この島でアンジュー伯シャルルの支配に対して起こった反乱は、この島の名をとって「 の晩鐘」と呼ばれている。シャルルの兄は、第6回、第7回十字軍を起こしたフランス王 であった。この王は、モンゴルにフランチェスコ派の修道士を送ったことでも知られている。

G. 1250年に神聖ローマ皇帝として死んだ、シュタウフェン朝の王 は、
 の娘を母に持ち、この島で育ち、この島の文化的繁栄に貢献した。

H. てこの原理や浮体の原理の発見などで名高い は、古代の大帝国が
送った軍隊によって、この島の南東部に位置する有力ポリス が占領
された時に殺された。没年は紀元前212年とされている。

I. 紀元前43年に没した政治家で、『国家論』の著者としてもよく知られている
 は、この島の総督を告発する弾劾演説を残している。

J. 紀元前8世紀から紀元前6世紀にかけて、ギリシア人は活発な植民活動を行
い地中海一帯に彼らの居住圏を広げていったが、この島の東岸にもコリントか
らの植民者たちによって が建設された。⁽⁶⁾

K. 民族大移動期を迎えると、この島はヴァンダル、⁽⁷⁾東ゴートなどの侵略に見舞
われたが、これらの国はいずれも東ローマ皇帝 に滅ぼされ、この島
も東ローマ帝国の支配下にはいった。その後、9世紀以降イスラム支配の時代
を経て、11世紀にはノルマン人の征服者を迎えることとなる。

問1 空欄 ～ に最も適した語を解答欄に記入せよ。

世界史

問2 空欄 ～ に最も適した語を下記の語群④のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

〔語群④〕

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 アリスタルコス | 2 アルキメデス |
| 3 エウクレイデス | 4 エーベルト |
| 5 エラトステネス | 6 カヴール |
| 7 カエサル | 8 ガリバルディ |
| 9 カルロス2世 | 10 キケロ |
| 11 バドリオ | 12 ピウスツキ |
| 13 ヒンデンブルク | 14 フィリップ2世 |
| 15 フェリペ5世 | 16 ブルートゥス |
| 17 マクシミリオン1世 | 18 マッツイーニ |
| 19 リューリク | 20 ルイ9世 |
| 21 ルッジェーロ2世 | 22 ルートヴィヒ2世 |
| 23 ルドルフ1世 | |

問3 空欄 に最も適した語を下記の語群⑤のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

問4 下線部(1)について、この国が1859年に獲得した地域を語群⑥から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

〔語群⑥〕

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 サヴォイア | 2 シラクサ | 3 トリエステ |
| 4 ニース | 5 ネアポリス | 6 ビザンティオン |
| 7 マッサリア | 8 ロンバルディア | |

問5 下線部(2)について、下記の説明文のうちに、正しいものはいくつあるか。

その数を解答欄にマークせよ。

- a この政権は、1922年のローマ進軍を契機に成立した。
- b この政権は、1923年に新選挙法を制定し、1926年には一党独裁の体制をほぼととのえた。
- c この政権を担った党の最高機関は、ファシズム大評議会であった。
- d この政権の指導者は、1945年に処刑された。

問6 下線部(3)について、下記の選択肢の中にノルマン人の建てた国はいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a セルビア王国 b ノヴゴロド国 c ハンガリー王国
- d モラヴィア王国 e リトアニア大公国

問7 下線部(4)について、下記の説明文のうちに、正しいものはいくつあるか。

その数を解答欄にマークせよ。

- a スパルタは、ペルシア戦争後に、イ 同盟に対抗するためにペロポネソス同盟を結成して、アテネと戦った。
- b この大戦争中に起こったテルモピレーの戦いでは、アテネ軍に包囲されたスパルタ王レオニダスは自軍が全滅するまで戦い抜き、勇名をとどろかせた。
- c この戦争は、マラトンの戦いで活躍した重装歩兵軍を擁するスパルタと、サラミス海戦を主導した、強力な海軍を有するアテネとの戦いであった。
- d アテネ民主政全盛期の指導者ペリクレスは、この戦争の戦没者追悼のための演説を行ったことでも広く知られていた。しかし彼は、この戦争開始後数年のうちに疫病で没した。

世界史

問8 下線部(5)について、このフランス王はいくつかの侵略戦争を起こしたが、1701年から始まった戦争では、植民地でも併行してアン女王戦争を戦っている。その結果、1713年のユトレヒト条約でイギリスが獲得した地域は下記の選択肢のうちいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a アカディア
- b ジブラルタル
- c ニューファンドランド
- d ミノルカ島

問9 下線部(6)について、下記の説明文のうちに、正しいものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a コリントは、ペロポネソス半島北東部に位置する、商業で栄えたポリスであり、コリント式という建築様式にもその名をとどめている。
- b カイロネイアの戦いに勝利した後、フィリッポス2世はコリントの地で会議を開催し、ヘラス同盟を結成させた。
- c 紀元前395年に、コリントは、アテネ、テーベなどと手を結んで、スパルタとの戦いを始めた。
- d レウクトラの戦いは、コリントが、スパルタ軍を破った、記念碑的な戦いであった。

問10 下線部(7)について、以下の説明文のうちに、東ゴート王国の説明として正しいものはいくつあるか。その数を解答欄にマークせよ。

- a ドナウ川を渡ってローマ領内に入り、5世紀には、アラリックに率いられて、ローマ市を略奪した。
- b クローヴィスの指導の下、ライン川流域からガリアにおよぶ王国を建てた。
- c テオドリックに率いられて、イタリアに侵入し、王国を建てた。
- d 568年に、オドアケルに率いられてイタリアに侵入し、北イタリアに王国を建てた。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

2013年、中国江蘇省揚州市の市内で、宅地造成中に一对の煉瓦作りの小規模な墓が発見された。その一つからは隋煬帝と記された墓石が出土し、その墓のつくりや出土品などから、この墓は隋第二代皇帝の煬帝が数回の改葬の後、最後に葬られたものであると考えられるにいたった。煬帝すなわち楊広は、隋を建てた (文帝)の第二子であった。隋は が北周にかわって建てた王朝であり、南北に分かれていた中国を合一し、唐で開花する統一国家の基礎をつくりあげた。北周は鮮卑系 氏が建てた北魏が東魏と西魏に分裂した後、西魏を実質的に支配していた宇文氏が長安を都として建てた王朝である。北周の宇文邕(武帝)は富国強兵策をとり、仏教や道教を弾圧して儉約につとめ、南朝陳の征服による中国統一を目指したが、志半ばでなくなり、その後外戚として朝廷内で勢力を拡大し禪譲の形式をもって隋を建てたのが である。

は前漢の長安の南東に新たに都(大興城)を建設し、北辺のトルコ系突厥⁽ⁱ⁾の南下を牽制しつつ、湖北にあった後梁を合わせ、589年には南朝の陳を滅ぼして中国の統一を完成した。また、 は古来の諸制度を整理し、律令制、府兵制、均田制、租庸調制のほか、科挙制度を運用することによって統一をかためようとした。⁽ⁱⁱ⁾しかし彼は、隋帝室内の混乱の中で、即位して第二代皇帝となる息子の楊広により殺害された。楊広は即位後、洛陽での新都の建設や長城の修築など多くの土木事業を行ったが、中でも注目されるのが、父の代より引き継いだ の建設である。 の建設には農業生産から夥しい労働力を吸い上げることになり、さらに前後3回にわたる高句麗遠征のために膨大な物資を徴発したことから、各地に農民の暴動が発生した。そして全国に反乱が拡大する中、江都、のちの揚州にて親衛隊に殺されることになった。この混乱のなか、現在の山西省太原市にあたる晋陽で突厥の南下を抑えていた李淵(高祖)は、息子の (太宗)の勧めで挙兵し、長安に入って勢力を拡大し、唐王朝を建てるにいたった。

もう一つの墓の被葬者は煬帝の皇后である蕭氏と考えられており、皇后の冠も出土した。蕭皇后は南朝梁を建てた (武帝)に繋がる。煬帝が殺された

世界史

のち、蕭皇后は諸勢力の間を転々とし、突厥から唐に戻されたが、このとき尽力したのが [い] であるといわれ、今回発掘された墓も [い] の時に改葬、合葬されたものと考えられている。東晋からその武将であった [②] が禅譲により宋王朝を建てたが、宋王朝もその武将であった蕭道成に禅譲し齊王朝ができ、さらに同族の [う] により建てられたのが梁王朝である。 [う] は政務に務め南朝の最盛期を作りだしたが、その治世の後半では仏教に傾倒して財政破たんをきたし、反乱軍により都が一時占拠されるなど混乱した。そののち、梁はその武将である [③] に禅譲し陳が建てられるが、梁の一族が西魏の支援で建てたのが後梁であり、蕭皇后はその皇族の出身である。陳は隋に滅ぼされることになるが、この時、都の [B] に侵攻した隋軍を率いたのが楊広である。隋において多大な労役を駆使して作られた [A] であるが、南朝統治期に経済的に大いに発展した江南と、政治的に優位に立ち長安・洛陽といった大消費都市のある華北とを結びつける大動脈として成立し、隋崩壊後も唐以後の歴代王朝で大いに活用されることになった。なお、江南では後漢崩壊後、貴族政治の発達を基礎とし、六朝文化と称せられる貴族文化が展開された。

(iv)

問1 文中の空欄 [①] ~ [③] に入る最も適切な語句を、下記の語群のなかからそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|
| 1 司馬懿 | 2 司馬炎 | 3 司馬遷 | 4 大月 | 5 拓跋 |
| 6 陳勝 | 7 陳独秀 | 8 陳霸先 | 9 氏 | 10 李広利 |
| 11 李斯 | 12 李自成 | 13 劉秀 | 14 劉備 | 15 劉邦 |
| 16 劉裕 | 17 耶律 | 18 完顔 | | |

問2 [あ] ~ [う] には人物の姓名が入る。その人物の姓名を漢字で解答欄に記入せよ。

問3 下線部(I)に関して、5世紀から6世紀にかけてモンゴル高原を支配し、北魏に対抗したが、6世紀の中頃に突厥に滅ぼされた騎馬遊牧民族を何というか。その名称を漢字で解答欄に記入せよ。

問4 下線部(II)に関して、次のアからエのうち、説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 戸調や兵役を課した占田・課田法は北魏でも行なわれ、租庸調制に引きつがれた。

イ 唐では庸の一つとして土木事業などの労務を行う雜徭が中央政府から課せられた。

ウ 租庸調制は均田制に基づいて実施された税制であるが、大土地所有の発達で崩壊し、兩税法の施行にあたり780年に廃止された。

エ 北周で始まった府兵制では均田制で土地を支給された農民から兵を募っていたため、租庸調は免除されなかった。

問5 下線部(III)に関して、科挙制度が始まる以前、三国魏から隋の初めまで行なわれた官吏任用制度を何というか。その名称を漢字で解答欄に記入せよ。

問6

A

 には、華北と江南を結ぶため隋代に開かれた水路の総称が入る。その名称を漢字で解答欄に記入せよ。

問7 下線部(IV)に関して、次のアからエのうち、説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 老荘思想を實踐して自由奔放な生活をおくった陶潜は、『文選』を編纂し六朝第一の自然詩人と称せられた。

イ 詩文にすぐれた昭明太子は梁の皇太子で、文人たちを集めて詩文集『桃花源記』を編纂した。

ウ 人物画や山水画を得意とした顧愷之は、竹林の生活を好み『帰去来辞』などの作品を画き画聖と称せられる。

エ 『蘭亭序』で知られる王羲之は、楷書・行書・草書の三書体を芸術的に完成させ書聖と称せられる。

世界史

問8 には、都市名が入る。その都市名(当時の名称)を漢字で解答欄に記入せよ。

問9 六朝と称せられる江南の六つの王朝の中で本文中に登場しない王朝が一つある。その王朝の名称を漢字で解答欄に記入せよ。

問10 北朝と称せられる華北の五つの王朝の中で本文中に登場しない王朝が一つある。その王朝の名称を漢字で解答欄に記入せよ。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

農業中心の社会から工業中心の社会(産業社会)をうみだした産業革命は、18世紀のイギリスで最初に始まった。発端となったのは綿工業の分野で、⁽¹⁾中心地は であった。1733年、ジョン=ケイによって飛び杼が発明されると、綿織物の生産量が急速に増えて綿糸が不足した。その結果、様々な紡績機が次々に発明され、良質の綿糸が大量に生産されるようになった。また、新たな動力源として蒸気機関が登場し、様々な機械に応用された。このような紡績・織布・動力の諸部門における発明は綿工業を繁栄させ、資本家は多数の労働者を雇用する機械制の大工場の経営に乗り出した。それにともなって、鉄工業など、ほかの部門⁽²⁾⁽³⁾も飛躍的な発達をとげた。

大規模な機械制工業が発達すると、大量の物資をできるだけ早く安く輸送するため、交通機関の改良の必要が生まれた。18世紀後半には国内の輸送路として運河網が形成されたが、19世紀にはいると鉄道がこれにかわった。1814年にステイヴンソンにより製作された蒸気機関車は、1825年に =ダーリントン間で客車・貨車の牽引に成功し、1830年には旅客鉄道が開通した。その後も鉄道建設は急速に進み、19世紀半ばまでには鉄道網が完成した。

産業革命の結果、イギリスは良質で安価な工業製品を大量にヨーロッパ内外の⁽⁴⁾市場で売りさばき、「」の地位を獲得した。それは最初ヨーロッパ諸国の産業を圧迫したが、イギリスが機械の輸出を解禁すると、各国に産業革命が波及した。⁽⁵⁾産業革命を達成した国々は、国際政治経済のなかで少しでも有利な位置をしめようと、国内体制の整備のみでなく植民地拡大にも力を入れるようになる。そのなかで世界は、「 (イギリスのもとでの平和)」⁽⁶⁾といわれるように、イギリスを中心として、それを追いあげる一群の後発資本主義国と、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの周辺の諸国や植民地へと再編され、相互に関連しあう一体化が進んだ。

また、それまでの生活様式は激変し、人々の生活感情や価値観も大きく変化した。都市への人口集中の結果、 ・ のような大工業都市や、リヴァプールのような大商業都市が生まれた。大工場を経営する産業資本家は経

世界史

済の大勢を左右するようになり、社会的地位を高め、自由主義的な改革を推進した。自由な経済活動と市場経済の発展は、⁽⁷⁾ が著した「諸国民の富(国富論)」で理論化され、⁽⁸⁾ マルサスやリカードらに受け継がれて今日の経済学の原型となった。また、⁽⁹⁾ 功利主義を唱えたベンサムらによって、自由主義思想はいつそう広められた。

大規模な工場で働く労働者は、規律正しく働くことを強く求められるようになり、分業がすすんで女性や子どもも工場や鉱山で働くことが可能になった。当時の資本家の多くは利潤の追求を優先して、労働者に不衛生な生活環境のもとでの長時間労働や低賃金を強制した。そのため労働者と資本家の関係は悪化し、⁽¹⁰⁾ 深刻な労働問題・社会問題が発生した一方、社会主義思想など、その解決をめざす思想も誕生した。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語を下記の語群からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | |
|-------------|---------------|
| a. アダム＝スミス | b. オコンネル |
| c. ケンブリッジ | d. ストックトン |
| e. トリスタン | f. ノーフォーク |
| g. バーミンガム | h. ブライトン |
| i. ホイットニー | j. マンチェスター |
| k. リヴィングストン | l. リチャード＝ロバーツ |
| m. ルイ＝フィリップ | n. ロンドン |

問2 文中の と に入る最も適切な語を解答欄に記入せよ。

問3 下線部(1)について、当時のイギリスの状況について誤っているものを二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 毛織物工業と交易によって資本が蓄積されていた。
- b オランダが建設したニューアムステルダムを占領した。
- c ノーフォーク農法の採用によって家畜と穀物の生産が増大した。
- d ジェントリは非合法的な第2次囲い込みによって農民の土地を奪った。

問4 下線部(2)について、イギリスにおける蒸気機関の開発と応用として誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 18世紀はじめにニューコメンが動力源として利用することに成功した。
- b 1769年にワットが改良して大きく安定した動力が得られるようになった。
- c 1785年にカートライトが蒸気機関を利用した力織機を発明した。
- d 1807年にフルトンが大型蒸気船クラームント号を建造した。

問5 下線部(3)について、18世紀のイギリスにおける産業について誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a コークスを使って鉄鉱石を効率的に燃焼させる方法が開発された。
- b 蒸気機関や紡績機などの製造用機械を作り出す機械工業が飛躍的な発達を遂げた。
- c ダービー親子によって造船法が改良され、大型船の生産が可能となった。
- d 石炭鉱業が蒸気機関・製鉄業と結びつき、エネルギー大量消費型の近代工業が始まった。

世界史

問6 下線部(4)について、19世紀のイギリスの状況として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1851年にロンドン万国博覧会が開かれ、イギリス国内外に近代工業力の成果を誇示した。
- b トーリ党のグラッドストーンらによって、重要な改革が実現された。
- c 1867年の第3回選挙法改正で産業資本家などが選挙権を獲得し、民主化が進んだ。
- d 1887年にエリザベス女王の在位50年が盛大に祝われた。

問7 下線部(5)について、産業革命に関連して、以下のうちで最も早く蒸気機関車の営業運転が開始された国を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a イタリア
- b ベルギー
- c ロシア
- d オランダ

問8 下線部(6)について、当時のイギリスと各国との関係の記述として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a インドからイギリス向けに綿花・茶・小麦などが輸出され、イギリスからインド向けに綿製品・工業製品・アヘンが輸出された。
- b インドでは、伝統的な手工業の多くが衰え、一次産品を生産するための経済・社会につくりかえられていった。
- c 多くの労働力が必要となったため、イギリスの植民地帝国による奴隷制が強化された。
- d ラテンアメリカでは、広大なイギリスの植民地帝国が確立され、イギリス向けに工業用原材料や穀物が輸出された。

問9 下線部(7)について、イギリスの自由主義改革に関する下記(ア)、(イ)、(ウ)の出来事を古い順に並べたものとして正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

(ア) カトリック教徒解放法の成立

(イ) 第1回選挙法改正

(ウ) チャーティスト運動

a (ア)-(イ)-(ウ)

b (ア)-(ウ)-(イ)

c (イ)-(ア)-(ウ)

d (イ)-(ウ)-(ア)

e (ウ)-(ア)-(イ)

f (ウ)-(イ)-(ア)

問10 下線部(8)について、1798年に刊行されたマルサスの著作の名称を解答欄に記入せよ。

問11 下線部(9)について、ベンサムが唱えた功利主義の標語を解答欄に記入せよ。

問12 下線部(10)について、19世紀以降、労働者の保護を目的として一連の法律が制定された。これらの法律の総称を解答欄に記入せよ。